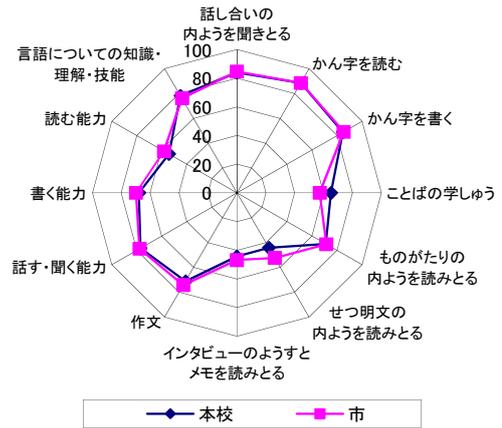


宇都宮市立緑が丘小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	83.9	84.6
	かん字を読む	88.6	88.6
	かん字を書く	84.6	85.4
	ことばの学しゅう	65.1	57.3
	ものがたりの内ようを読みとる	71.1	71.5
	せつ明文の内ようを読みとる	44.2	52.5
	インタビューのようすとメモを読みとる	44.3	46.8
	作文	71.1	74.2
観点別	話す・聞く能力	77.2	77.8
	書く能力	67.8	69.9
	読む能力	54.3	58.2
	言語についての知識・理解・技能	78.1	76.0



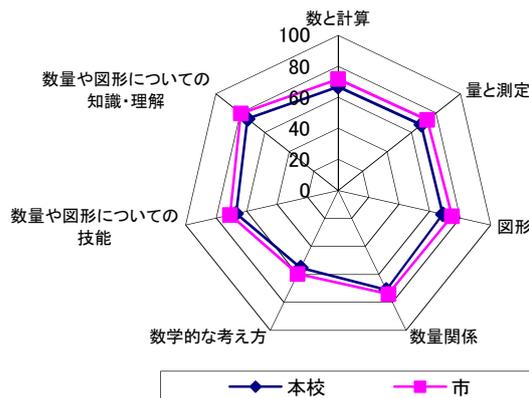
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・本校は83.9%と宇都宮市の正答率84.6%とほぼ同じである。設問別にみると「話の内容の聞き取り」の正答率が低く、大切なことを落とさず聞き取る力がついていない。	・学習全般だけでなく生活の中でも、人の話を集中して聞く態度を育て、話し手が言いたいことを意識して聞くことができるようにしたい。また、多くの機会を捉え、「話の中心は何か」「大切なことは何か」を落とさず聞き取るために、メモをとりながら聞くことができるように指導していきたい。
かん字	・漢字の読みは、宇都宮市の正答率と同じ88.6%だが、漢字の書き方では、宇都宮市の正答率85.4%よりわずかに下回っている。漢字を読むことはおおそできるが、書くことが苦手な第2学年配当漢字でありながら、「汽車」の誤答が多かった。	・国語スキルタイムや宿題、自主学習等で、現学年の新出漢字だけでなく第2学年の既習漢字の筆順・読み・書きの練習を繰り返し行い、更に習熟を図る。また、既習の漢字は、書く活動の中で意識して使うように指導する。
ことばの学しゅう	・本校は65.1%と宇都宮市の正答率より8%近く上回っている。設問別にみると、国語辞典の使い方「調べたい言葉を終止形に直すこと」が、市の正答率より7%近く上回っているものの42.2%と低かった。	・国語の学習や国語スキルタイム等で、国語辞典を引く利便性や必要性を実感させ、分からない言葉は国語辞典を使って調べる習慣を身に付けさせたい。また、終止形以外の活用形の動詞や形容詞などを調べる場合は、終止形に直すことができるように指導する。
ものがたりの内ようを読みとる	・本校は71.1%と市の正答率よりわずかに下回っている。設問別にみると、「場面の様子を読み取ること」はできたが、「登場人物の気持ちを読み取ること」が市の正答率より低い。	・国語の学習で、情景や様子、登場人物の気持ちは、叙述に即して読み取ることが大切であることを指導する。また、読書タイムや学校図書館利用の充実を図り、読書の楽しさを味わわせるとともに、質のよい読書を指導する。
せつ明文の内ようを読みとる	・本校は44.2%と市の正答率より8%近く下回っていて、「文章の要点に注意して読み取ること」や「文と文のつながりを考えながら読むこと」ができない児童が多い。	・説明文の読み取りは、「段落」の中で、繰り返し使われている言葉や題名に関係する言葉に着目して要点を読み取るように指導する。また、同じ意味のことを表現を変えて書いている場合もあることなどに注意して読み取るように丁寧に指導していきたい。さらに、接続詞などを手がかりにしながらか構成図を作り、段落相互の関係を捉えて読み取らせるようにしたい。
インタビューのようすとメモを読みとる	・本校は44.3%と市の正答率より3%近く下回っている。設問別にみると「読み取った情報の共通点と相違点に注意して整理する」の正答率が低かった。	・国語の学習の中で、表現の工夫が異なるメモ(文章)を取り上げ、書いた人の意図によって、事柄の取り上げ方や説明の仕方が異なることを理解させ、メモ(文章)を正しく読み取れるように指導する。そして、共通点や相違点を探しながら読むという読み比べの活動を通して、思考を深めるようにさせたい。
作文	・本校は71.1%と市の正答率より3%下回っている。「3年生の間がんばったことを2段落構成で書く」問題であったが、指定された長さ・2段落・段落ごとの内容などの条件を守って書くことができない児童が多かった。	・指定した条件で文章を書く機会をつくり、集めた材料の中から書く内容を取捨選択することや、文章の中心を明確に詳しく書くことなどを取り上げて、文章表現力の基礎を身に付けさせたい。また、「組み立てメモ」を書いて、段落の構成について工夫させ、これまでにつけた力の定着を図るようにしたい。そして、作文の推敲では、書くことが苦手な児童を中心に個別指導をしたい。

宇都宮市立緑が丘小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	66.9	71.8
	量と測定	68.0	72.8
	図形	68.7	74.7
	数量関係	71.1	74.1
観点別	数学的な考え方	55.2	59.7
	数量や図形についての技能	66.9	70.9
	数量や図形についての知識・理解	74.1	79.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>・本校の平均正答率は66.9%で、市平均を4.9%下回っている。「かけ算の計算」が市と比べて少し正答率が高かったが、その他すべて正答率が下回っている。特に「数の相対的な大きさについて」の問題など大きい数を表す問題の正答率が低かった。基礎的内容の定着がまだ不十分である。</p>	<p>・知識理解・計算技能などの基礎・基本がまだ習熟していない児童が多いので、3年のまとめの時間やスキルタイムの時間、宿題などで基礎基本の定着を図りたい。また、ちょっとした計算ミスも目立つので、もう一度よく見直しをする習慣を身につけさせたい。「大きな数」の学習では、数の概念が理解できていない児童に、位取り表や数直線を用いて考えるように指導していきたい。</p>
量と測定	<p>・本校の平均正答率は68.0%で、市平均を4.8%下回っている。「身近にあるものの重さを推察して適切な単位を用いて表す」問題の正答率がやや高かったが、その他すべて正答率が下回っている。「2つの時刻を比較してその間の時間を求める」問題や、「道のりの意味を理解し地図から道のりを読み取る」問題、「かばんの重さと全体の重さから中身の重さを求める」問題などの正答率が低かった。</p>	<p>・「2つの時刻を比較してその間の時間を求める」計算は、実際に時計の針を動かしたり時計の絵をかいたりして針の動きを視覚的にとらえやすいようにする。数値計算で答えを求める児童には、時間の単位は六十進法であることを注意させる。「道のりの意味を理解し地図から道のりを読み取る」問題は、道のりと距離の違いを確認し、1km=1000mの関係を用いて長さの単位換算ができるようにする。</p>
図形	<p>・本校の平均正答率は68.7%で、市平均を6.0%下回っている。「直方体の長さの等しい辺の数を答える」問題の正答率がやや高く、「直方体を作るときに必要な面の形と数を答える」問題の正答率が大きく下回っている。</p>	<p>・立体図形の問題では、辺や面の関係を空間的に認識するのは難しいので、実際に箱を分解したりつなぎ合わせたりして面の数や形を確認させたい。</p>
数量関係	<p>・本校の平均正答率は71.1%で、市平均を3.0%下回っている。「□を使って減法の式に表す」問題はやや上回っているが、「□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶ」問題が特に下回っている。</p>	<p>・文章問題の立式が苦手な児童にとっては、文章を読んで□を使った式で表したり、逆に□の式を見てそれに合った文章問題を選ぶ問題は困難である。今後の3年のまとめの時間などを用いて四則の意味を再確認し、文章問題を解くときにキーワードに着目して立式をさせたい。そのうえで、□を使った式の表し方や求め方などを理解させ、活用できるようにしていきたい。</p>